

# IMS Miyoshi

イムス三芳総合病院広報誌 愛し愛されるIMS

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。

## 備えあれば憂いなし！ 災害対策



3月11日で東日本大震災から8年が経ちました。2018年も各地で地震が起きたり、台風によって大きな被害をもたらされたりなど、災害の多い1年でしたね。

いつ災害にあってしまうか分からない今日、災害への備えはできていますでしょうか？ 新年度を迎えるこの機会に、もう一度災害対策について考えていきましょう。

今回は、当院の防災への取り組みや災害時の当院の透析体制、家庭での備え、身近なものでできる応急処置の方法などを紹介したいと思います。

### 当院の防災への取り組み

災害時も医療行為を続けるために、日ごろから下記のような取り組みをして、災害に備えています。

#### 防災訓練

消防法に基づき、職員を対象とした防災訓練を定期的に行っています。主な内容は、消火訓練、避難訓練、通報訓練を行い、非常時に対応できるように努めています。

#### 食糧、飲料水

入院患者様や、その介助にあたる職員等が2~3日過ごせる程度の保存食、飲料水を備蓄しています。

#### 電気設備等

蓄電池や発電機を設置し、停電時でも稼働できるよう備えています。

## 災害時の当院の透析体制

災害(地震)時に予測される透析に影響のある被害として、右記のような点が考えられます。災害時はこれらの6項目の確認を直ちに行います。そして、透析中か非透析時かにより下記のように対応をします。

### ◆透析中の対応

透析継続可能か不可能かを判断し、不可能であるなら速やかに離脱を行い、避難できるような体制が出来ています。

### ◆非透析時の対応

次回の透析が通常通り行えるのか、安全な送迎が行えるかの連絡をいたします。

透析関連で  
災害時に予想される被害

1. 停電
2. 断水
3. ガス停止、ガス漏れ
4. 通信障害
5. 透析装置の移動・転倒
6. 患者様の抜針による出血など

## 家庭でできる防災対策

**住んでいる地域のハザードマップを確認し、家族で確認をしましょう**



お住まいの地域の各市町村のホームページにハザードマップが掲載されています。災害時、避難を余儀なくされたときの避難所を家族で確認し、はぐれた際の集合場所などを決めておきましょう。

### 家具・電化製品の固定、配置の工夫

過去の大型地震では、多くの方が倒れてきた家具等の下敷きになって亡くなったり、怪我をしたりしました。家具には、転倒防止策を施し、倒れてしまった時にも避難経路を塞がないよう向きや配置を工夫しましょう。

寝室や子供・高齢者の部屋、出入口付近にはできるだけ背の高い家具は置かないようにしましょう。就寝位置を家具から離したり、転倒しにくい側方としたりするといった方法も考えられます。重量のある家電製品はできるだけ低い位置に置くようにしましょう。



### 備蓄品、非常持ち出し品を準備しておく



目安として家族分の最低限 3 日分程度の食糧、飲料水を備蓄しましょう。

玄関や寝室など持ち出しやすいところに置いておき、すぐに持ち出せるようにしておきましょう。

背負える袋(リュックサック等)に入れておけば、持ち出した時に両手が使えて便利です。



## 東日本大震災時に救護活動を行った看護師が考える 持出品リスト

被災後、2、3日まで最低限必要だと感じたものをご紹介します。

### ◆最低限、必要な持出品◆

- 常備薬（糖尿病・高血圧の薬など）1週間分
- 飲み水 5日分（2L×5 1人分）
- 靴（スリッポンがオススメ）
- トイレットペーパー
- 塩（夏の熱中症対策）
- 食料品（カップめん・缶詰・ビスケット・チョコ等）
- 懐中電灯、携帯ラジオ
- 予備電池、ポータブル携帯電話充電器
- アルミ製ブランケット
- 使い捨てカイロ（冬の寒さ対策）

### ◆災害が落ち着いてきたとき、あると便利なもの◆

マスク、軍手、衣類、下着、毛布、タオル、ウェットティッシュ、お薬手帳、貴重品（現金・預金通帳など）

※メガネ・コンタクトレンズ用品一式・入歯・赤ちゃん用品（粉ミルク、紙おむつ等）は手に入りにくいいため、必要な方は、持出品に加えましょう。

## 家族との連絡方法を決めておく



家族が離れている時に被災した場合、一般電話回線は混雑が予想されます。NTTの「災害時伝言ダイヤル 171」や携帯電話の「災害用伝言板」等のサービスの活用方法を家族で共有しておきましょう。

（参照：総務省消防庁ホームページ）

## もしもケガをした時の 応急処置の仕方

災害時はケガをしても医療機関にすぐに行けない場合があります。そんな時の応急処置を救急外来の看護師が伝授いたします。

### 骨折

※腕は90度で固定しましょう。ただし、変形している時には無理に戻そうとせず、そのままの状態固定しましょう。



1. 患部を雑誌、新聞もしくは段ボールで包むか添え木する（木の枝や傘など硬い真っ直ぐなもの）



2. 患部を中心にし、両端を留める



3. 衣類等を用いて三角巾固定（レジ袋、スカーフ、カーディガン、ズボン、ベルト、シャツ等）



レジ袋の両サイドを切る（ハサミがない場合は手で切り裂いてOK）



袋の底に骨折した腕を入れる



骨折した腕を入れた輪に頭も入れる



腕が安定するよう整え、完成！

### 止血

タオル、ハンカチ、あれば清潔なガーゼを傷口（出血部分）に当て、手で圧迫する。

※タオル等が血液で滲んで来たら、新しいものを交換するのではなく、上に重ねて圧迫しましょう！

### なぜ上に重ねるの？

せっかく止血できても**圧迫**したものを**取ってしまうと**、かさぶたが取れて再び**出血**してしまいます。傷口に直接接触しているものは、**取らないように**しましょう。



# 各部署紹介

## 第4回

HELLO!!

# 地域医療連携室



当院では、約 600 人の職員が地域の皆さまの健康に役立つべく、就労中です。職員がどこで・どのように働いているのかシリーズでご紹介。第4回目の今回は、「地域医療連携室」についてお伝えいたします。

### <スタッフ>

6名

### <主な業務>

地域医療連携室では、患者様が適切な場所で医療が受けられるよう、地域の開業医、施設の先生方との協力体制を構築し、円滑な連携を図る役割を担っています。主に下記のような業務を行っています。



### ◆医療機関や施設からの 患者様の受診や入院の調整◆

他の医療機関や施設にて対応困難な症状の患者様がいらした時、地域医療連携室はご相談の窓口としてお話を伺い、医師へ確認を取ります。当院で対応可能であった時は、看護部と連携し、受入の体制を整えます。

インフォメーションカウンターでは病院やクリニックから紹介して頂いた紹介状をお持ち患者様の受付、ご案内を行っております。

◆紹介頂いた医療機関への御報告◆  
ご紹介頂いた患者様の治療結果や検査の結果、またその後の病状について、当院担当医から紹介元医療機関への御報告を行う際の郵送や、返書状況に関する管理、集計を行っています。

☆毎月公開講座を行っています☆  
病気の予防や健康のために興味を持って頂ける内容を企画し、毎月様々な講座を開催しています。当院の医師やメディカルによる医療講座、リハビリテーション科スタッフによる健康体操、管理栄養士が教える調理実習などを行っています。  
講座へのご参加は予約が必要です。健康に対して興味をお持ちの方は是非ご参加ください。

◆地域の開業医、施設の先生方、  
救急隊への情報提供◆  
医療機関や施設に訪問し、当院で行える医療や検査、サービスについて知ってもらうことを目的としています。また、訪問先の先生方の要望を伺い、患者様が当院で円滑に治療ができるよう連携をしています。

■予約、お問い合わせ■  
地域医療連携室  
電話番号 049-274-7015 (連携室直通)  
※インフォメーションカウンターでも予約できます



24 時間救急対応

お問い合わせ先



049-258-2323(代)

救急の場合は 24 時間体制で、できる限り対応しております。診察可能かどうか必ずお電話で確認してください。



IMS(イムス)グループ 医療法人社団 明芳会

# イムス三芳総合病院

〒354-0041 埼玉県入間郡三芳町藤久保 974-3

TEL 049-258-2323 (代)

発行：2019年 vol.17 編集担当：広報委員会

3月12日の情報です。講座の日程や外来担当日などは変更ができる場合もございます。最新情報はHPまたは院内配布物をご確認ください。